

○調査研究・モニタリングの実施状況

	調査項目	実施主体 (方針策定時)	継続 可能性※	実施 頻度 (方針 策定 時)	調査内容	実施状況					備 考
						H24	H25	H26	H27	H28	
1	駆除個体の頭数とその内容、サンプル収集分析 (年齢構成、繁殖状況、胃内容物、遺伝子情報)	知床財団、道環境研	△	毎年	駆除個体から外部計測および必要サンプルを採取し、捕獲個体の基本情報を把握する。	○	○	○	○	○	—
2	狩猟個体の頭数とその内容、サンプル収集 (年齢構成、繁殖状況、胃内容物、遺伝子情報)	知床財団、道環境研	△	毎年	狩猟個体から外部計測および必要サンプルを採取し、捕獲個体の基本情報を把握する。	○	○	○	○	○	狩猟個体は、サンプルが確実に収集されている訳ではない。
3	標識調査などによる繁殖状況の調査	知床財団、北海道大学、知床博物館	△	毎年	標識装着個体の追跡や捕獲個体の情報により、毎年の産子数や生存率など繁殖状況を把握する。	○	○	○	○	○	調査地域が斜里町の一部に限定。H24に1頭、H25に4頭、H26に7頭、H27に5頭、H28に4頭、のべ21頭を捕獲し標識調査を実施、繁殖状況を5年ごとに取りまとめ予定。
4	広域ヘアトラップ調査による生息数推定	未定	—	10年	毛根から採取した遺伝子情報により、個体数を推定する。	×	×	×	×	×	—
5	人身被害・危険事例の発生情報の収集	環境省、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団	○	毎年	各町における人身被害・危険事例の発生情報を収集し、取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
6	ヒグマ目撃アンケートの実施	斜里町、羅臼町、知床財団	○	毎年	ヒグマ目撃アンケートにより出没情報を収集する。	○	○	○	○	○	標津町内については未実施。
7	定点カメラ・足跡トラップ	標津町、NPO法人南知床ヒグマ情報センター	△	毎年	自動撮影定点カメラ・足跡トラップによって個体識別と生息状況等を把握する。	×	×	×	×	×	定点カメラはヘアトラップ調査に集約、足跡トラップは停止中。
8	標識調査などによる生息地利用様式や行動パターンの調査	知床財団、北海道大学、斜里町、標津町 NPO法人南知床ヒグマ情報センター、NTTドコモ	△	毎年	標識装着個体の追跡等により、土地利用様式や行動パターンを把握する。	○	○	○	○	○	調査地域が斜里町と標津町の一部に限定。 斜里町では、H24に1頭、H25に4頭、H26に7頭、H27に5頭、H28に4頭、のべ21頭を捕獲し標識調査を実施。 標津町では、H24に3頭、H25に3頭、H26年に3頭、計9頭を捕獲し標識調査を実施。
9	遺産地域からの移動分散状況の調査 (広域的な捕獲個体との遺伝子情報の対比など)	未定	—	毎年	標識個体の追跡、遺伝子情報の対比等により、遺産地域から知床半島基部、さらには道東各地へのヒグマの移動分散状況を把握する。	×	×	×	×	○	H28は北海道大学・知床博物館・知床財団で実施
10	農林水産業被害統計	斜里町、羅臼町、標津町	○	毎年	各町の一次産業に対するヒグマ被害の状況について、集計し取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
11	出没や被害に関する通報・対応件数と対応状況の記録	環境省、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団、 NPO法人南知床ヒグマ情報センター	○	毎年	各機関に対する通報対応件数・対応状況等を取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
12	遊歩道・登山道などの運用状況の記録	環境省、北海道、知床財団	○	毎年	遺産地域内の登山道、遊歩道などにおけるヒグマ出没に関連した閉鎖や一時的な利用自粛など運用状況を記録、取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
13	学校教育や社会教育における地域住民への普及啓発活動の記録	斜里町、羅臼町、標津町、知床財団	○	毎年	学校教育におけるヒグマ授業や、一般対象の講演会等、ヒグマに関する地域住民への普及啓発活動の実施状況について取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
14	施設等における利用者への普及啓発活動の記録	環境省、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団	○	毎年	ビジターセンターなど遺産地域内外の施設等におけるヒグマに関する普及啓発活動の実施状況について取りまとめる。	○	○	○	○	○	—
15	ゴミの投棄やゴミステーションの運用状況など 住民生活における問題事例の発生記録	斜里町、羅臼町、標津町、知床財団	○	毎年	遺産地域内外における巡視活動等で、生ゴミの管理などヒグマの保護管理方針に関連すると思われる事例を抽出取りまとめる。	○	○	○	○	○	ゴミに関連する問題事例は、平成24年に20件（斜里2件、羅臼18件）、平成25年に2件（斜里2件）、平成26年に0件、平成27年に6件（斜里3件、羅臼3件）、平成28年に1件であった。
16	住民意識調査	未定	—	10年	ヒグマに関する意識調査を地域住民や公園利用者対象に実施し、管理方針の見直しの際に役立てる。	×	×	×	×	×	—
17	保護管理活動実施体制の把握	未定	—	毎年	ヒグマの保護管理活動に出勤可能な従事者数及び平均年齢の推移等を把握する。	×	×	×	×	×	—

※ ○=方針策定時に予算の担保あり △=方針策定時に予算の担保なし